**国民の税金2億7千万以上つかって･･･利便性ほとんど向上せず**

**マイナンバー制度は廃止を**

10月1日に番号が通知されま

法律生活相談会のお知らせ

**日本共産党議員団は、毎月、静岡法律事務所の弁護士の同席のもと無料法律生活相談を実施しています。とき：毎月最終火曜日の午後6時　場所：生涯学習センター**

**※特に予約制ではありませんが、ご一報いただければ助かります。**

**国民一人に12桁の番号を付けて2016年にスタートしたマイナンバー制度。システムのトラブル続きで2017年11月ようやく本格運用となりました。**

**その主な役割は自治体間の情報連携。市民が市役所に来なくても書類提出の手間が省けるというものです。**

**マイナンバーは12桁の番号で国民の納税状況や受給している社会保障制度、預貯金まで把握されるもの、真の目的は徴税強化と社会保障の切り捨てにあります。**

**本格運用に当たりどれほど利便性が向上したのか？市は数百通の提出書類が省略できたと答えましたが、その大半は市外から藤枝市に（その逆も）引っ越した際の書類提出が削減されたもので、市民にとっては一生に一回あるかないかの引っ越しに伴うケースだけ。これまでカードがなくても電話等の照会で問題なく手続きは行えていました。**

**このシステムを構築するために2億7千万の税金を使っています。カード普及率も11・4%と10人に一人程度、所持しなくても何の不便を感じない市民がほとんどです。**

**国の決定事項で市はやらざるを得ない立場ですが、他市では商品券や図書カードにマイナンバーを付加するなど自治体独自でカードの活用を図るところもあります。あくまでも国受託事務にとどめ、同時に制度廃止を求めていくべく質疑としました。**

小中学校全教室のクーラー設置。工事は地元中小業者の活用を

**災害級と評された今年の酷暑。全国で熱中症が多発しました。**

**抵抗力の弱い子供達、クーラーなしの教室では授業もままなりません。**

**藤枝市は2019年6月をめどに市内全小中学校の全ての教室にクーラーを設置する総額13億8千万の補正予算を提出しました。**

**日本共産党市議団は迅速な対応を歓迎すると同時に、仕事づくりに苦慮している中小の業者に設置工事を発注するべきと提案、市も検討すると答弁しました。かつて市内全小中学校にパソコンを設置した際（3億円）は名古屋の大手業者1社が受注した経緯があります。**

**9月14日議案質疑**

泉町狭隘道路、調査費300万の予算が可決

**救急車も消防車も通れずに暮らしに影響が出ている泉町の狭隘道路問題。並行する木屋川が県管轄の二級河川であることなど、道路拡幅がなかなか進みませんでした。**

**2016年9月議会で県も協議には応じるとしていると市に提起し、北村市長自ら現地を視察、県との協議が進められてきました。**

**9月補正予算で300万の設計の委託予算が計上されました。事業開始までもう少しお待ちください。**

